

| 第2次三豊市健康増進計画・食育推進計画策定委員会（第4回）議事要旨 |   |
|-----------------------------------|---|
| 日 時                               | 平成30年3月22日（木）午後3時00分～午後3時40分  |
| 会 場                               | 三豊市役所 危機管理センター 301・302 会議室  |
| 出席者                               | 委 員<br>山地委員 琢磨委員 香川委員 吉岡委員 秋山委員 田尾委員<br>上村委員 植岡委員 吉田委員 岡田委員 藤田委員 仁木委員<br>前川委員 滝口委員<br>（敬称略、委員名簿順）   |
|                                   | 市関係職員<br>齊藤健康課長<br>事務局（吉田、森、大野）   |
| 欠席者                               | 琢磨委員 田尾委員 吉田委員 （敬称略、五十音順）   |
| 会議次第                              | 1 開会<br>2 委員長のあいさつ<br>3 議事<br>（1）パブリックコメントの実施結果について<br>（2）第2次三豊市健康増進計画・食育推進計画の承認<br>4 その他<br>5 閉会   |
| 傍聴者                               | 0名  |
| 会議概要                              |   |
| 事務局                               | 1 開会<br>2 委員長のあいさつ<br>3 議題<br>（1）パブリックコメントの実施結果について<br>資料①に沿って、パブリックコメントの実施結果について説明する。<br>実施に際しての計画書の内容変更、補正該当箇所はない。その他前回策定委員会資料より、文言の補正、加筆・修正箇所あり。計画書最終案として、表紙・裏表紙と併せて、山下市長のごあいさつを掲載。<br>次に、計画書 P3 の通り、平成30年度以降の元号が標記される場合は西暦を併記する。<br>次に、P41、前回策定委員会時に委員から、表中の評価項目、実績値、目標値の表記について、数字が似通った場合にわかりづらいと指摘があり、対象者や数値の増減が目標値である場合は、評価項目の文言に「割合の増加・減少」という文言を加筆し、以降、全体を通して加筆。その他、計画書の概要版を作成。概要版については普及・周知を目的とし、窓口 |

|     |  |
|-----|--|
| 委員長 | <p>等で広く配布する予定。<br/>なにかあれば質問を。後程でも構わない。</p> <p>(2) 第2次三豊市健康増進計画・食育推進計画の承認</p>   |
| 委員長 | <p>本計画書をもって、正式な頭身とする形でよいか。特に異議はないようなので、本計画内容をもって策定委員会の答申として取り扱っていく。それでは本日、策定委員会最終回ということで各委員より一言お願いする。</p>  |
| 委員  | <p>パブリックコメントについて、隣の観音寺市では、一人で6つコメントを出す人もいるが、三豊市にはいないのだろうか。本計画を通して、健康増進・食育推進していければと思う。</p>  |
| 委員  | <p>概要版 P5 喫煙飲酒の項目中、「喫煙マナーを守りましょう。」「禁煙に努めましょう。」の文言の位置を入れ替える方がよいのでは。基本的に禁煙に努め、やむを得ずすう場合にはマナーを守るという形式にしてほしい。</p> <p>また、概要版ライフステージ別の取り組みについて、年齢 65 歳以上の全てが括られているため、もう少し段階を細かく書いてほしい。</p> |
| 委員  | <p>委員同様、高齢者という括りを細かくしてほしい。またそのための調査等もお願いする。今後、本計画により、どのような変化が起こるか見ていく。</p>   |
| 委員  | <p>これまで働く世代に生活習慣病の予防等の活動を行ってきた。現在行っているデータヘルス計画では、扶養の方の数値にも問題があるという結果が出ている。今後、保険者の垣根を取り去り、自治体と連携した健康づくりの取り組みを行っていきたいと考えている。</p>   |
| 委員  | <p>立派なものができると思う。今後、長寿社会になっていく中で、かかる費用が増加するが、これをどう抑えていくかが重要となる。健康寿命が延びれば、医療・介護・福祉分野にかかる費用も下がる。先日、香川県の健康寿命が延びたという報道を見たが、こうした取り組みによる結果が出てきている。</p>                                      |
| 委員  | <p>パブリックコメントが集まらなかったのは非常に残念。ただ、健康な人はあまり見ない、病気に罹った人も今更回答しない、という現状があるのではないかと。概要版は見やすいと思うので、色々な機会を活用し、健康寿命を延ばしていきたい。</p>  |
| 委員  | <p>当初は長寿社会を目指していたが、100 歳を超えることが普通になってきている。今後は健康寿命を延ばすことが重要となってくる。香川県では健康寿命が延びてきているということだが、三豊市でも本計画におけ</p>  |

|      |   |
|------|---|
| 委員   | <p>る進行管理を厳格に行い、健康寿命の延びる三豊市にしていきたい。健康に長生きするためには、好き嫌いをしない食生活を送る必要が重要。そのために、若者に助けをもらう部分もある。</p>  |
| 委員   | <p>健康寿命を延ばすためには、食事、運動、メンタルヘルスが重要になってくるが、その中で最も重要となるのが、食事の栄養バランス。また、75歳以上が14.1%を占めるようになる中で、認知症予防も重要になってくる。老人会でもスポーツイベント等を通して、地域の人を飽きさせない取り組みを行い、将来少しでも多くの人が、寝たきりにならないようにしたい。</p>   |
| 委員   | <p>まず目標として、私たち、また家族の健康は私たちの手で守っていく、その上で、市民全体の健康のお手伝いをできれば。資料を見て、栄養食生活、食育推進、健康づくりのための食習慣改善など、参考になる部分が非常に多いので、私たちの健康づくりに役立てていけないのではないかと。</p>  |
| 副委員長 | <p>やはり元気で長生きすることがなによりだが、実際、栄養バランスの取れた食事を摂れている家庭は少ない。というのも、家族での対話も減少してきていたり、上から受けた指導を下まで浸透させることが難しかったりする。家庭、社会の環境そのものが起因となっている部分も多い。地域のリーダーを筆頭に、横のつながりをより強固なものとし、また地域でのグループ活動を通して健康増進の浸透、指導に努めることが大事。</p>                  |
| 委員   | <p>社会に出たらみんなが平等に付き合っていくことが重要。</p>   |
| 委員長  | <p>それでは次第に沿って、事務局に説明していただく。</p>   |
| 事務局  | <p>4 その他<br/>委員からご指摘のあった、概要版 P5、本計画書 P57、58「喫煙マナーを守りましょう。」「禁煙に努めましょう。」については、順番を入れ替える形で補正する。</p>   |
| 事務局  | <p>今後のスケジュールについては、計画書を答申とし、市の方に固定しておく。提出方法については、委員長に一任ということで、後程相談する。計画書の策定報告については、香川県の担当課に上げるとともに、広報、市のホームページ等で、広く市民に周知する。広報については、6月号に間に合うように掲載予定。併せて作成した概要版については、色々な窓口に置いてもらい、チラシ感覚で持って行ってもらう。委員の方々には、印刷・製本が終わり次第配る。</p> |
| 事務局  | <p>5 閉会<br/>それでは事務局より最後に一言ご挨拶申し上げます。<br/>第2次三豊市健康増進計画・食育推進計画策定にあたり、委員長はじめ、委員の皆さまには4回にわたる策定委員会のなかで、有意義なご意</p>  |

見をたくさん頂戴し、活発にご議論いただいたことについて、あらためてお礼申し上げます。

専門的な知識に基づいたご指摘、また、なまの現場の声を頂戴したおかげで非常にきめ細やかな、より三豊市の実態に合致した、良い内容の計画に仕上がっていると考えている。

今後は、この計画が市民と意識共有できるよう、十分に周知・広報し、浸透させていくと同時に、この計画に基づき、市民の健康づくりや食育について、市民・地域・関係各部署が連携し、計画を推進し、何かひとつからでも形にあらわれるよう実行していきたいと考えている。

また10年間という計画期間なので、5年後の中間見直しの際には進捗状況をふまえ、着実に見直しを行い、進行管理をしていくことが大切であると考えているので、今後ともお気づきの点などがあれば、ご指導いただきたいと思います。今後も皆さまに応援していただくことをお願いしてご挨拶とさせていただきます。ご協力、まことにありがとうございました。